

新たに1件、市の指定文化財に

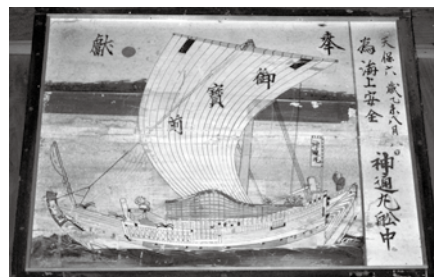
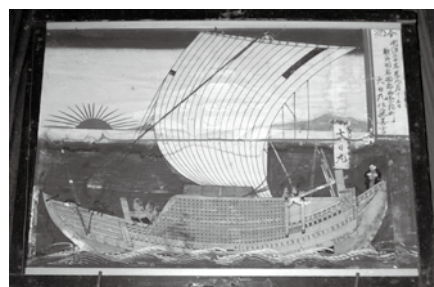
— 瀬波八坂神社の船絵馬 —

本市の歴史や文化を伝える貴重な文化財として保存するため、2月20日付で新たに瀬波八坂神社（瀬波中町310）の船絵馬13点が市指定文化財に指定されました。今回の1件を含め、市指定文化財は計143件となりました。

「瀬波八坂神社の船絵馬」(歴史資料) 13点

これらの船絵馬は江戸時代の文政9年(1826)から明治30年(1897)に、船主・船頭らが航海の安全祈願や就航成就を感謝して奉納されたもので、当時の海運業隆盛の歴史を示す貴重な資料です。絵馬は大坂の専門の絵師によって描かれたものが多く、弁財船と海神である摂津の住吉神社と日の出が背景に描かれ、年代、船主の名前や船名、船の大きさを示す帆の数、乗組員の人数などが記載されています。

当時の瀬波湊は、村上藩の年貢米運搬に係る湊として活気があり、大坂や江戸、北海道江差方面への年貢米の売却や北前船と呼ばれる買積船による商いが盛んに行われ、海運業に係る廻船問屋が多数存在していました。特に、北前船による商いは一獲千金の莫大な利益が得られる一方で難破による損失というばくち的要素が強いことから、神仏に対する信仰の背景として船絵馬が盛んに奉納されました。



●問い合わせ 生涯学習課文化行政推進室 (☎53-7511)

連載 No. 8 教えて! 岩船沖洋上風力発電

市民説明会を開催しました

市では、洋上風力発電事業の経過を報告する説明会を1～2月にかけて、事業の近隣地域を対象に4回、市民の皆さんを対象に1回の計5回開催しました。

説明会では、事業予定者代表の日立造船株式会社から、電力線への接続協議が整わず事業性評価を1年延長することや、海底地質調査の結果から、技術的に可能とされる3.6メガワット風車を15基配置する案の説明がありました。

日立造船株式会社から「まずは、第1期工事として技術的に可能なところから事業を始めさせていただきたい。今後も新しい工法を研究、検討し、将来的には徐々に成長する事業にしていきたい。」と参加者の皆さんに理解を求めました。



●問い合わせ 村上市岩船沖洋上風力発電推進委員会事務局
環境課新エネルギー推進室 ☎53-2111 (内線275)